

**第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における実施状況
(全事業一覧)**

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

【施策の方向性1】健康づくり・介護予防の充実 (基本的な施策1)生涯を通じた健康づくり・介護予防の推進 生涯を通じた自主的な健康づくりの推進

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
1	健康マイレージ事業 (健康推進課)	生涯を通じた健康づくりを推進するため、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズなどと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進します。 また、さらに身近で参加しやすい事業となるよう、地域が主体となった仕組みを展開します。	参加者数 26年度:20,000人	参加者数 9,440人	参加者数 15,544人	健康マイレージ対象事業登録数 4,639件
2	みんなで歩こう北九州 (健康推進課)	地域住民が楽しく健康づくりに取り組めるように、市民センターを拠点とした地域の特色あるウォーキングコースを設定し、それをホームページで公表するなど地域が主体となった継続的なウォーキング事業の実施を促進します。	参加市民センター数 26年度:129センター		参加市民センター数 129センター	全ての市民センターのマップをファイリングしたものを、各市民センターに配置し、市HPにも掲載しました。 平成25年秋頃に、24年度作成したウォーキングマップを配布するためのイベントを各区で実施予定です。

生活習慣病予防・重症化予防のための各種検診の実施

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
3	健康診査 (健康推進課)	がんなどの生活習慣病予防対策の一環として、これら疾患の疑いのある人や危険因子を持つ人をスクリーニングするため、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんなどの各種がん検診や、骨粗しょう症検診・若者(基本)健診を実施します。	がん検診受診率 24年度:50%以上	がん検診受診率 2.1~22.9%	がん検診受診率 2.2~22.3%	北九州市医師会への委託により、がん検診や若者健診、骨粗しょう症検診など各種の検診を1,000円以下で実施しています。 また、一定の年齢の方が無料で子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診を受診できる「がん検診無料クーポン券」の配布します。 企業・ボランティア等との連携により継続的に検診の普及啓発活動を行い、がん検診受診者の増加を図ります。
4	歯ッピー・ヘルシー北九州事業 (健康推進課)	歯と口の健康は、美味しい食事や家族や仲間との会話を楽しむ等、生活の質の向上を図るための重要な要素です。生涯を通じた歯と口の健康づくりの一環として、成人期における歯科疾患の早期発見・早期対応を目的とした歯科検診や情報提供・普及啓発を実施することにより歯と口の健康づくりの推進を図ります。	歯周疾患検診受診率 26年度:8%	歯周疾患検診受診率 4.5%	歯周疾患検診受診率 4.2%	成人期における歯周病の早期発見・早期対応を行い、重症化の予防を図るとともに歯と口の健康づくりに対する意識の向上を図るため、歯周疾患検診を実施し、受診者拡大に努めます。また、口腔と全身の健康に着目した歯周病予防に関する啓発活動を行います。
5	北九州市国民健康保険特定健診・特定保健指導 (健康推進課)	生活習慣病を予防するための特定健診の受診率向上を図るとともに、効果的な特定保健指導を実施します。また、特定保健指導対象外の者にも、健診結果や医療費データを分析して健康課題を明確にし、優先順位をつけ、保健指導を行います。さらに、慢性腎臓病予防に向けて、健診結果からかかりつけ医・専門医とをつなぐ予防連携システムを継続して運用し、生活習慣病予防及び重症化予防をめざします。	特定健診受診率 24年度:65% 特定保健指導実施率 24年度:45%	特定健診受診率 31.1% 特定保健指導実施率 27.5%	特定健診受診率 31.5%(暫定値) 特定保健指導実施率 集計中	受診率向上の取り組み・・・チラシ・ポスターの製作・配布、出前講演、健康づくり推進員・食生活改善推進員との連携、電話による個人受診勧奨 健診後の事後フォローの充実・・・特定保健指導対象外の方への保健指導、CKD(慢性腎臓病)予防連携システムの実施

健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及・理解の促進

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
-----	-----	------	----	--------	--------	-----------------

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

6	介護予防に関する普及・啓発事業 (健康推進課)	介護予防への関心を高め、その重要性や正しい知識を広く周知するため、講演会や新聞・リーフレットなどを活用したPR活動を行います。また、地域主体の介護予防を促進するため、健康づくり推進員等の活動支援やスキルアップ研修を実施します。	介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 26年度:40.0%			リビング北九州「健康コラム」の連載(月1回掲載中) 介護予防リーフレットの作成(44,000枚) 開催予定 「健康づくり講演会」2回開催予定
7	百万人の介護予防事業 (健康推進課)	本市が開発したひまわりタイチャーやきたきゅう体操を通して介護予防の普及・啓発を図るとともに、高齢者が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組めるよう、ひまわりタイチャー普及員等の人材育成を図り、自主グループの活動を支援します。	教室参加者数 26年度:420人	教室参加者数 425人	教室参加者数 497人	ひまわり太極拳教室 4期開催 119人参加(実数) 年間8期開催予定 ひまわり太極拳普及員養成講座 1期開催 57人参加(実数) きたきゅう体操教室 2期開催 46人参加(実数) 年間4期開催予定 きたきゅう体操普及員養成講座 4期開催予定
8	高齢者のための筋力向上トレーニング啓発事業 (健康推進課)	高齢者の日常生活に必要な筋力の維持・向上を図ることを目的として、ストレッチなど自宅でも継続して取り組むことのできる運動を中心とした筋力トレーニング教室を開催します。	教室参加者数 26年度:960人	教室参加者数 904人	教室参加者数 917人	一般コース 13回×9会場×2期実施 429人参加(実数) 年間3期実施予定 準特定コース 13回×(9会場+8会場)実施 222人参加(実数) 年間3期実施予定
9	お口の元気度アップ事業 (健康推進課)	高齢期において口腔の機能を維持・改善することは、生活の質(QOL)の向上のために重要です。そこで、高齢者を対象とした口腔機能向上や口腔ケアについての意義、方法、効果等についての知識や技術を学ぶ教室、専門職による相談対応、出前講演による普及啓発等の様々な口腔機能向上のための事業を行い介護予防の推進を図ります。	事業延参加者数 26年度:8,700人	事業延参加者数 8,004人	事業延参加者数 7,660人	高齢者の日常生活において、支援や介護が必要な状態となることを予防し、健康長寿を実現するために、生活機能の維持・向上を目指す介護予防の意義や重要性、方法等についての正しい知識・技術の普及啓発が重要です。本事業について市民センターや住民組織を通じたPRに努め、事業を実施しています。
10	高齢者食生活改善事業 (健康推進課)	高齢者が「食生活」を通じて低栄養状態を予防し、自分に合った適正な食事量を把握するための正しい知識と技術の普及・啓発を、対象者のニーズに合わせて講話や調理実演、個別相談など様々な形態で行います。高齢者が参加しやすいように、地域の市民センターや区役所で開催します。	事業延参加者数 26年度:8,500人	事業延参加者数 8,488人	事業延参加者数 8,674人	おいしく食べて元気もりもり教室 開催回数:54回 参加者延べ数:2,093人 元気で長生き食卓相談 開催回数:31回 参加者延べ数:86人 シニア料理教室 開催回数:31回 参加者延べ数:3,058人
11	高齢者尿失禁予防事業 (健康推進課)	閉じこもりなどの生活機能の低下を招く原因の一つである尿失禁に関する正しい知識の普及啓発や尿もれ予防体操の実技指導、医師の個別相談などを行うことで、日常生活習慣の改善や生活の質(QOL)の向上を図ります。	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 26年度:250人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 52人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 82人	尿もれ予防講座 全1回×3会場実施 93人参加(実数) 年間5会場実施予定 女性のための尿失禁予防教室(キュービッド教室) 全8回×年間2会場実施予定
12	元気でハツラツ健康アップ教室 (健康推進課)	生活機能の低下を予防するため、健康講座や運動を取り入れた教室を地域で開催します。また、健康づくり・介護予防活動のリーダー的役割を担う住民を育成し、地域に密着したグループ活動を住民が自主的に展開することをめざします。	教室実施箇所数 26年度:52箇所	教室実施箇所数 58箇所	教室実施箇所数 56箇所	・市内56箇所の予定で、地域の市民センター等で、65歳以上を対象に生活機能の低下に取り組む教室が実施されています。
13	公園で健康づくり事業 (健康推進課)	高齢者等の健康づくりに効果的な健康遊具を設置した公園で、健康遊具の適切な利用法や運動方法を学ぶ健康づくり教室を開催するなど、身近な公園を活用した市民の継続的な健康づくり活動を支援します。	教室参加者数 26年度:110人	教室参加者数 107人	教室参加者数 161人	・公園で健康づくり普及員養成講座(香月中央公園)全4回×1会場実施 10人参加(実数) ・普及教室(祇園一丁目公園)全4回×1会場実施 11人参加(実数) 年間2会場実施予定 トレーニング教室 全12回×年間2会場実施予定

(基本的な施策2)効果的な介護予防の取り組みの推進 二次予防事業対象者を早期に把握するための取り組み

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
-----	-----	------	----	--------	--------	-----------------

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

14	二次予防事業対象者把握事業 (健康推進課)	高齢者の生活状況や健康状態を確認するための基本チェックリスト(厚生労働省規定)を活用して、要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者を把握・決定します。		発送件数 192,360件 二次予防事業決定件数 7,368件 二次予防事業参加者数 2,357人	発送件数 103,295件 二次予防事業決定件数 15,430件 二次予防事業参加者数 3,031件	平成23年度までは、全対象者(要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者)へ毎年送付していた基本チェックリストの送付頻度を毎年から2年に1回に変更しています。 本年度送付対象(11月～3月生まれ)送付予定件数(102,571件)
----	--------------------------	---	--	---	--	--

効果的な二次予防事業の実施

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
15	通所型介護予防事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者に対し、運動器の機能向上教室や口腔機能向上教室を引き続き実施し、新たに運動、口腔、栄養のプログラムを組み合わせた教室を実施します。理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士、看護師などの専門スタッフの指導で、自宅でも継続して介護予防に取り組めるよう支援します。	教室参加者数 26年度:1,270人	教室参加者数 706人	教室参加者数 728人	運動器の機能向上プログラム:年間52クール開催予定で実施しています。 口腔機能向上プログラム:33クール開催予定で実施しています。 複合型(運動・栄養・口腔)プログラム:9クール開催予定で実施しています。
16	訪問等による介護予防支援事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い高齢者に対し、保健師、看護師等が訪問などを行い、高齢者の生活機能に関する問題を総合的に把握・評価し、必要な支援を行います。さらに支援を充実させるため、管理栄養士等による訪問を行います。	訪問等に対応した人数 26年度:9,766人	訪問等に対応した人数 5,236人	訪問等に対応した人数 13,402人	平成24年度から二次予防事業対象者の決定方法を変更し、決定者数が増加したことにより訪問等で支援を行う数も増加傾向にあります。
17	高齢者地域交流支援通所事業 (高齢者支援課)	主として要介護状態等となる恐れが高い高齢者を対象に、運動・栄養・口腔ケアの総合的なプログラムにより、できるだけ自立した状態が長く続くよう、市民センターで、サービスの提供を行います。	利用登録者数 26年度:750人	利用登録者数 714人	利用登録者数 699人	利用登録者数 688人 市内50館で実施。週2日(10～14時)、6ヶ月間を1クールとして、各館ともに年間2クール開催予定。

継続的な介護予防ケアマネジメントの実施

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
18	地域包括支援センター運営事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	生活機能低下のおそれのある高齢者が、その心身の状況などに応じて介護予防事業や介護予防サービスなどを適切に利用できるよう、必要な援助を行います。				高齢者のための保健・医療・福祉の「総合相談窓口」として、地域包括支援センター(24ヶ所)及び統括支援センター(7ヶ所)計31ヶ所において、相談を受け、支援を行っています。

(基本的な施策3)健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実 地域主体の活動の促進・環境整備

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
19	高齢者支援のための地域づくり事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	市民センターなどを拠点として、保健師を中心とする地域保健関係職員が、地域住民や関係機関と連携し、地域の実情に応じた保健福祉活動を協働で行います。この活動を通して地域福祉のネットワークづくりを支援します。				各地区で実施されている事業に地域保健関係職員等が参加し、地域福祉のネットワークづくりの支援を行います。 下記事業について計画実施中 元気ではつらつ健康アップ教室 認知症予防講演会 認知症予防教室 健康教育・健康相談

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

20	市民センターを拠点とした健康づくり事業(健康推進課)	地域の市民センター等を拠点として、市民が主体となって話し合い、目標設定、計画づくり、実践、事業評価をひとつのサイクルとした健康づくり事業を、まちづくり協議会、健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政(保健師等)などの連携により行います。	実施まちづくり協議会数 26年度:136団体	実施まちづくり協議会数 97団体	実施まちづくり協議会数 108団体	・本事業を新たに3団体広げ、市内111団体での展開を予定し、事業を進めています。
----	----------------------------	---	---------------------------	---------------------	----------------------	--

健康づくり・介護予防に携わる人材の育成・支援

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
22	健康づくり推進員の養成・活動支援事業(健康推進課)	地域における健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、運動・栄養・休養に関する研修を行い、健康づくり推進員を養成します。また、健康づくり推進員が行う地域での健康づくり・介護予防に関する情報発信や、ウォーキング教室などの自主活動、知識の普及を支援します。	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 26年度:129センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 114センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 114センター	会員数...705人 平成26年1月～2月に養成研修実施予定 市民センター別配置数...1人以上:128、2人以上115(箇所)
23	食生活改善推進員の養成・活動支援事業(健康推進課)	食を通じた健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、食生活と生活習慣病などに関する研修を行い、食生活改善推進員を養成します。また、食生活改善推進員が行う地域での食と健康等に関する情報発信や、健康料理普及講習会、ふれあい昼食交流会などの活動を支援します。	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 26年度:129センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 120センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 119センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数21センター 食生活改善推進員養成教室修了者数未定(累計5,613人) 食生活改善推進員が少ない市民センターでの養成教室開講2ヶ所、大規模区(小倉北区と小倉南区と八幡西区)では年2回開講 ステップアップ研修、食中毒予防研修、献立試作会開催回数:139回 参加者延べ数:1,958人 ふれあい昼食交流会栄養士支援回数:101回 参加者延べ数:995人

【施策の方向性2】生きがい・社会参加・地域活動の推進

(基本的な施策1) 教養・文化・スポーツ活動の促進

教養・文化活動などの機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
24	年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム運営事業(高齢者支援課)	年長者研修大学校では、高齢者を対象とした講座を通じた生きがいづくりや仲間づくりに加え、地域活動や社会貢献活動を担う人材の育成を進めます。また、市内の大学と連携した校外授業(シニアカレッジ)の拡充を検討します。生涯現役夢追塾では、これから高齢期を迎える人等を対象に、産業活動や地域活動等の社会貢献活動を担う人材の発掘、育成を進めます。また、高齢者をはじめとした市民の健康づくりなどを行う北九州穴生ドームを運営します。	延利用者数 26年度:200,000人	延利用者数 194,188人	延利用者数 193,679人	平成25年度 32コース(周望・穴生 各16コース)で985人が入学し、現在、受講中
25	年長者いきいきクラブ運営事業(高齢者支援課)	高齢者の生きがいを高めるため、陶芸、木彫、水彩画などの各種講座を「生涯学習センター」や「勤労青少年ホーム」などで開催します。		15講座 延受講者数4,229人	15講座 延受講者数4,443人	平成25年9月より12講座開講
26	年長者作品展(高齢者支援課)	高齢者の創造の喜びと創作意欲を高め、生きがいづくりを支援することを目的に、高齢者が製作した作品の発表の場として作品展を各区で実施します。		・年長者作品展開催6区 ・入場者数(6区合計)約7,500人 ・出品点数(6区合計)約1,900点	・年長者作品展開催6区 ・入場者数(6区合計)約6,600人 ・出品点数(6区合計)約1,800点	・年長者作品展 9月開催予定 5区

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

27	年長者施設利用証 広域連携事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会参加の促進を図るため、市立の文化、観光、体育施設など(福岡市、下関市、熊本市、下関市の施設も一部含む)を無料又は割引料金で利用できる「高齢者施設利用証」を交付します。		延利用者数571,240人	延利用者数625,271人	対象施設数 市内市立施設:113施設、福岡市:12施設、下関市: 10施設、熊本市:18施設、鹿児島市:9施設
----	--------------------------------	---	--	---------------	---------------	---

生涯スポーツ活動の機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
29	全国健康福祉祭北 九州市選手団派遣 事業 (高齢者支援課)	各種スポーツや文化・福祉イベントを通じて、高齢者の健康の保持増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進するため、各県持ち回りで毎年開催される「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」に北九州市選手団を派遣します。		選手団 16種目 117人	選手団 15種目 101人	第26回全国健康福祉祭こうち大会(ねんりんピックよさこい高知2013)へ北九州市選手団を派遣。 13種目に出場(10月開催予定)。
30	高齢者の健康づくり モデル事業(スポー ツ教室) (高齢者支援課)	スポーツを通じて高齢者の健康づくりを行うとともに、高齢者が気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図ることを目的に、北九州穴生ドームでシニア健康スポーツ教室、ニュースポーツ体験教室などを実施します。		延参加者数22,847人	延参加者数24,583人	・健康ボランティア養成研修 ・各種ドーム杯 ・ ニュースポーツ大会 ・ニュースポーツ無料開放 ・ ニュースポーツ出前事業 ・健康ウォーキング
31	高齢者の水中歩行 教室 (高齢者支援課)	高齢者の生きがいと健康づくりを支援するため、水中歩行運動を中心とした教室を開催します。		実施会場7会場 延参加者数4,136人	実施会場7会場 延参加者数4,215人	・実施会場 6会場(実施中)
32	シルバースポーツ大 会開催助成 (高齢者支援課)	スポーツを通じた高齢者の生きがいづくりを促進するため、60歳以上の高齢者が過半数参加する全学的なスポーツ大会の開催経費の一部を助成します。		5種目5団体へ助成	4種目4団体へ助成	4種目4団体へ助成。

(基本的な施策2) 社会参加のための人材育成・環境づくり 地域社会の担い手となる人材の育成

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
37	ボランティア大学校 運営事業 (いのちをつなぐネッ トワーク推進課)	地域ニーズに対応した研修内容の充実、研修機会の拡大に努め、地域福祉やボランティア活動を担う人材の養成を行います。	ボランティア大学校の 研修の受講者数 26年度:2,400人	ボランティア大学校の 研修の受講者数 2,402人	ボランティア大学校の 研修の受講者数 2,326人	ボランティア活動者スキルアップ研修 (1回:47 人) 地域活動支援者研修 (1回32人) 地域活動者研修 (9回449人)

活動のための情報や場の提供

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
43	高齢者いきがい活動 支援事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会貢献や生きがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間づくり情報などの収集や情報提供を行います(H24.12から事業開始)。			ホームページ閲覧件 数 3,254件 窓口閲覧件数 1,088 件	ホームページ閲覧件数 6,684件 窓口閲覧件数 1,614件
44	年長者いきいの家 (高齢者支援課)	地域の高齢者に対して、教養の向上及びレクリエーション活動などの場を提供し、心身の健康増進を図るため、年長者いきいの家の運営及び活動に必要な経費の補助や、建物の修繕・補修工事を実施します。		延利用者数317,699人	延利用者数317,826人	年長者いきいの家の設置状況 ・市立年長者いきいの家 160館 ・私立年長者いきいの家 14館
45	新門司老人福祉セン ターの管理運営 (高齢者支援課)	高齢者に対して、介護予防の視点に立ちながら各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動を提供する場の運営を行います。	年間総利用者数 26年度:57,000人	年間総利用者数 54,485人	年間総利用者数 50,752人	各種相談、レクリエーション活動などを実施中

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

47	老人クラブ活動の促進 (高齢者支援課)	老人クラブの地域社会における社会奉仕活動等を促進し、高齢者福祉の増進を図ります。また、老人クラブが、地域における世代間交流を深めるとともに、地域社会の一員として介護予防への取組みを行うなど、積極的な役割を果たすことができるよう支援を行います。 単位老人クラブへの助成、市・区老人クラブ連合会への助成、高齢者の健康づくり支援事業、年長者の生きがいと創造の事業		老人クラブ数 915クラブ 会員数 43,372人 健康づくり支援事業 実施校区 13校区 生きがいと創造の事業 実施クラブ 584クラブ	老人クラブ数 907クラブ 会員数 42,057人 健康づくり支援事業 実施校区 14校区 生きがいと創造の事業 実施クラブ 512クラブ	老人クラブ数 900クラブ 会員数 40,503人 健康づくり支援事業実施校区 9校区 生きがいと創造の事業実施クラブ 421クラブ (申請ベース)
----	------------------------	---	--	---	---	--

高齢社会に関する啓発

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
48	敬老行事 (高齢者支援課)	長年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬うとともに、市民の高齢社会に対する認識を深めるため、さまざまな長寿のお祝いに関連する事業を行います。年長者の祭典 敬老祝金 地域で行われる敬老行事への助成		15,617人 支給額226,970千円 361団体 参加者数108,050人	16,132人 支給額226,970千円 364団体 参加者数110,667人	実施済(平成25年9月3日(火)芸術劇場大ホール) 実施中 随時受付(要申請、内容審査のうえ決定)
49	高齢社会を考える区民の集い (高齢者支援課)	高齢社会への共通の理解と認識を確立し、友愛訪問や地域助け合い活動などを活発にしていくことを目的に、区ごとに啓発イベントを開催します。		区民の集い開催 7区 参加者数 約3,900人	区民の集い開催 7区 参加者数 約3,500人	区民の集い開催 1区(9月以降に実施予定2区) 参加者数 約450人
50	市制50周年記念事業生涯現役夢追いサミットの開催 (高齢者支援課)	本市の市制50周年記念事業として、高齢者が、いつまでもいきいきと社会や地域で活躍できる生涯現役社会の実現に向けた環境づくりを進めるための啓発イベントを平成25年2月23日に開催しました。			総参加者数 430人	

世代間交流の促進

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
51	高齢者による子育て支援モデル事業 (高齢者支援課)	高齢者による豊富な経験を活かした子育て支援を行うボランティア活動を支援することで、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一翼を担うとともに、高齢者自身の生きがいづくりなどを促進します。		延利用者数953人	延利用者数1,008人	

(基本的な施策3) 多様で主体的な社会貢献活動の促進

多様な地域活動の支援

No.	事業名	事業概要	目標	23年度実績	24年度実績	25年度実施状況(8月末時点)
56	高齢者を対象とした地域活動促進助成事業(まちづくり参画チャレンジ事業・シニア活動ステップアップ事業) (高齢者支援課)	高齢者を主たる対象とした生きがいづくりや健康づくりなどの地域活動に対して、助成を行います。		助成団体 14団体	助成団体 9団体	・高齢者地域活動助成事業(まちづくり参画チャレンジ事業とシニア活動ステップアップ事業を統合) 助成団体 11団体
57	(新)介護支援ボランティア制度の実施(介護保険課)	高齢者が介護保険施設等において、要介護者等に対する介護支援ボランティアを行った場合に、その活動実績を評価してポイント化し、ポイントを換金することができる事業の実施を検討します。	ボランティア登録人数 26年度:1,000人			平成25年4月より事業開始、同時にボランティア登録を始め、7月より活動に対するポイント付与を開始。 ボランティア登録人数767人

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況一覧

60	ボランティア活動推進事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	市内のボランティア活動の活性化のため、ウェルとばたと各区にある「ボランティア・市民活動センター」において、関係団体と協働して啓発や情報の収集・提供、需給調整などを行います。			・ボランティア登録団体 786団体 ・ボランティア登録人数 29,105人 ・ボランティア活動に関する相談件数 33,077件	ボランティア登録団体 670団体 ボランティア登録人数 21,775人 ボランティア活動に関する相談件数 13,276件 (平成25年8月31日現在)
----	------------------------------------	--	--	--	--	--